

定例教育委員会（3 月度）議事録（要点筆記）

- 日時及び開催場所に係る事項

開催日時 平成 31 年 3 月 18 日（月）午後 3 時 00 分～

開催場所 裾野市役所 402 会議室

1 開会および閉会に関する事項

(1) 開会

風間教育長あいさつ

明後日の 3 月 20 日に小中学校の卒業式・終業式を迎えます。ほとんどの中学 3 年生は、進路が決まったかと思います。教員人事の発表も近日中にありますので、新しい体制を迎えるようになります。貴重な 3 月になりますので、大事に過ごしていきたいと思いません。よろしく願いいたします。

前回議事録の承認

前回議事録承認 桃井教育長職務代理及び杉田委員署名

議事録作成者の指名

教育長より教育総務課 西島璃子を指名

議事録署名人の決定

風間教育長及び庄司委員

(2) 閉会

会議終了により閉会（午後 4 時 45 分閉会）

2 出席者の氏名

教育長 風間忠純 教育委員 桃井昭一 教育委員 眞田平芳
教育委員 渡邊すみ枝 教育委員 庄司伸子 教育委員 杉田博道

3 教育長、委員および傍聴人を除く外、議場に出席したものの氏名

教育部長 杉山善彦 教育総務課長 勝又明彦 学校教育課長 荒井賢二
生涯学習課長 木原慎也 鈴木図書館長 芹澤泰広 健康福祉部保育課長 笠間健男
教育総務課 二ノ宮貴之、西島璃子 傍聴人：1 名

4 教育長その他の報告の要旨

◇教育長報告（詳細は配布資料による）

- 2/27 第 4 回裾野市立鈴木図書館協議会
・第三次裾野市子ども読書活動推進計画審議
- 2/27 第 2 回公民館運営審議会
- 3/1 市内校長会
・平成 30 年度総括及び 31 年度目標等

- 3/1 まち・ひと・しごと創生会議
- 3/1 コンプライアンス推進本部会議
- 3/2 JFA アカデミー福島卒校式
 - ・男女合わせて13名が卒校式に参加
- 3/7 きいろい帽子贈呈式
- 3/7 児童生徒市長賞表彰式
- 3/7 第2回裾野市交通安全対策委員会
 - ・交通安全講話「平成30年中の市内交通事故発生状況について」
 - ・事故件数は減っているが、事故は続いている。
 - ・新入学(園)児を交通事故から守る県民運動(4/4～4/10)

◇部長報告

- 3/14 議員協議会
 - ・エアコン整備事業の経過報告
 - ・市立水泳場の漏水について
 - ・深良小及び富岡第一小耐震・大規模改造工事の補正予算について

<質疑・意見等>

委員 市立水泳場の修繕費は高くなりそうでしょうか。
 教育部長 まだ原因が特定できていないため分かりませんが、昨年度営業中から少しずつ水位が減っているという傾向について報告は受けておりました。昨年暮れに一度注水をして、年明けにはほとんど抜けてしまったことから、問題部分が進行していると考えられます。原因を特定して修繕するというのと、建物自体も老朽化してきているので、その辺りのバランスも検討したいと思います。水泳大会の参加者の人数についても減っている傾向があると聞いています。

委員 廃止の可能性もあるのでしょうか。
 教育部長 あります。

委員 このような漏水は初めてでしょうか。
 教育部長 平成30年度の営業の中で、指定管理者より水位が少し減っている傾向があるという報告は受けておりました。

生涯学習課長 2～3年前からこのような状態でしたが、今回のような大規模な漏水は初めてです。

委員 プール自体は何年経つのでしょうか。
 生涯学習課長 昭和37年設立で60年以上が経過します。

◇出席課長より報告

- 学校教育課長 2/22 裾野市教育論文表彰式
静岡県優秀教職員表彰式
- 3/5・6 静岡県公立高校入学試験
- 3/7 きいろい帽子贈呈式(明るい社会づくり運動裾野地区協議会)
 - ・裾野市立小学校、御殿場特別支援学校の新一年生全員分贈呈を受けた。

- 児童生徒市長賞表彰式（17人、2チーム）
- 生涯学習課長 3/11 育英奨学生選考委員会
 3/14 静岡県公立高校合格発表
 3/19 御殿場特別支援学校（小・中）卒業式
 3/20 市内小・中学校卒業式
 3/28 市内小・中学校教職員離任式
 2/22 富士山市民協議会講演会 69名参加
 3/2 JFA アカデミー福島卒校式
 ・男子12名、女子6名が卒校（13名が参加）
- 図書館長 2/27 第2回公民館運営審議会
 ・31年度事業計画
 ・公民館講座(全12講座)受講生を募集（3/23～）
 2/27 第4回裾野市立鈴木図書館協議会
 ・アンケートやパブシクコメント等を実施し、「第三次裾野市子ども読書活動推進計画」を作成した
- 保育課長 西側外壁防水工事完了
 東側外壁防水工事の補正予算対応
 3/5 保育園園長会
 3/6 幼稚園協議会
 子ども育て会議（第3回）
 ・幼児教育の無償化
 子ども子育て支援事業計画のニーズ調査を実施中

<質疑・意見等>
 特になし

5 報告案件
 特になし

6 次回定例教育委員会の予定
 日時：平成31年4月26日（金） 午後3時より
 会場：裾野市役所 401会議室

7 議題および議事の概要、質問または討論をした者の氏名および要旨

(1) 第8号議案 裾野市教育委員会事務局内部組織規則の一部改正について
 説明者：教育総務課長

<質疑・意見等>
 特になし

教育長 第8号議案について承認いただけますか。
 委員 承認。

- (2) 第9号議案 裾野市教育委員会事務局事務専決規程の一部改正について
説明者：教育総務課長

<質疑・意見等>
特になし

教育長 第9号議案について承認いただけますか。
委員 承認。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書きに基づき、第10号議案、第11号議案は非公開とした。

- (1) 第10号議案 育英奨学生を選定について
説明者：学校教育課長
- (2) 第11号議案 要保護・準要保護について
説明者：教育総務課

8 議決事項（議案書は別紙による）

議案番号	内 容	議決結果	議決日
第8号議案	裾野市教育委員会事務局内部組織規則の一部改正について	承認	平成31年3月18日
第9号議案	裾野市教育委員会事務局事務専決規程の一部改正について	承認	平成31年3月18日
第10号議案	育英奨学生を選定について	承認	平成31年3月18日
第11号議案	要保護・準要保護の認定について	一部承認	平成31年3月18日

9 その他

- (1) 学校教育課報告
説明者：学校教育課長
生徒指導状況について

<質疑・意見等>
委員
学校教育課長

中学3年生の不登校の生徒は進路が決まったのでしょうか。
申し訳ありませんが全員は把握できていません。ふれあい教室に通っていて高校に進学している生徒はいますので、不登校だからといって進路が閉ざされてしまうわけではないのですが、家から全く出られないという状況ですと難しいことがあります。今のところ就職する生徒がいるということは聞いておりませんので、また中学3年生の進路について確認をさせていただきます。

何らかの形で繋がって、次の進学先が確保できているのではないかと思います。現在不登校の生徒を受け入れている高校も多くありまし

て、意欲さえあれば進学する道が開けています。

委員 不登校の理由がその他に該当している生徒がいますが、その他というのとはどのような状態なのでしょう。

学校教育課長 不登校の理由については、明確にできないものが多くありまして、本人も分からない場合があります。もちろん成長していく中で、本人なりになぜ登校できなかったか、理由が分かってくることもあるかと思いますが、現状として明確に説明ができない子ども達については、その他としています。

委員 不登校人数の学校別のデータはあるのでしょうか。原因というのは個々で違うとは思いますが、現状で取得できるデータで、分析をできるだけ行なえば、原因を見つけて未然に不登校を防ぐ可能性もあるかと思えます。

学校教育課長 不登校の理由としてどのようなものがあるのかということ、この数字を見ながら思案をするのですが、やはり一番良い方法なのが、現場にいる先生が家庭を訪問してその子の状況や背景を探っていくことだと思います。ただ、何らかの対策を立てるために、今おっしゃったような、大きな傾向や共通して関連した原因、例えば学年全体としての人間関係や、授業が面白くないといったような、全体としての問題があるとしたならば、そこには手を入れていきたいと思えます。現状としては、共通した要因というよりも個々に対応が必要なケースが多いかと思えます。しかし、おっしゃられたように未然に対策するためには、無闇に対応をしてもうまくいかないのでは、特徴的なものについては捉えていきたいと思えます。

委員 先生ばかりにお願いするのも大変だと思いますが、担任の先生だけでなく、他の先生も気にかけて、まめに声をかけていけば、防げる場合があるのではないかと思えます。学校に不登校に関する専門の先生がいれば、人数は減るのではないのでしょうか。

学校教育課長 現在、各中学校にはこころの教室相談員やスクールソーシャルワーカー等といった職員を配置していますが、子どもの変化は毎日のことなので、日々ずっと一人一人を追っていくことは難しい現状があります。担任一人に任せず、組織的に取り組まなければならないことは承知していますが、対応が不十分になってしまうこともまた事実だと思えます。ただ、その子にとってこの先生がいるから学校に行きたいと思えるような、繋がっていける先生がいるということは大事だと思うので、来年度もう一度各学校の生徒指導主任や主事を中心に、どのような対応ができるか考えていきたいと思えます。

委員 お子さんの対応はもちろんですが、支える親御さんの対応によっても子どもの回復が変わってくると思えますので、その親御さんのケアも重要だと思えます。親の学校に行ってくれれば良いと思ってしまう気持ちが強いと、良い循環になっていかない場合があると思えます。そういった部分の親御さんを支える部分が必要で、学校へ行っていない場合、家庭が休まる場所であるような、親が変わることで子どもも

変わっていただけるような、親御さんへのサポートが必要だと感じます。

学校教育課長 おっしゃる通りだと思います。学校のスクールカウンセラーは、子どもだけでなく、保護者の子育ての相談を受けている例がたくさんありまして、子どもとの関わり方について親も悩んでいる状況があります。スクールカウンセラーにも親のサポートをしてもらったり、家庭児童相談員に相談を聞いてもらうといった、保護者をケアできるような形が作れるといいと思います。

(閉 会)

風間教育長 以上をもちまして、3月度定例教育委員会を閉会します。